

ネイティブクロストリジウム・パーフリンゲンス (*C. welchii*) コロイルグリシンヒドロラーゼ

Cat. No. NATE-0129

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 コロイルグリシンヒドロラーゼ (EC 3.5.1.24) は、アミド結合の加水分解を触媒するN末端ヌクレオフィリック (Ntn) ヒドロラーゼであり、ステロイドコアからグリシン/タウリン部分を解放し、最終的に非抱合胆汁酸を生成します。チオール基を酸化する試薬 (例: p-マーキュリベンゾエート、ヨードアセタミド、Hg²⁺、Cu²⁺、およびCd²⁺) は、クロストリジウム・パーフリンゲンスにおける胆汁塩ヒドロラーゼ (BSH) 活性を強く抑制することが示されています。

用途 Creative Enzymesの酵素は、さまざまな研究において胆汁サンプルの分析に使用されています。

別名 EC 3.5.1.24; グリココラース; 胆汁酸加水分解酵素; コロイルタウリン加水分解酵素; 3 α ,7 α ,12 α -トリヒドロキシ-5 β -コラン-24-オイルグリシニアミド加水分解酵素; 37289-07-9

製品情報

由来 クロストリジウム・パーフリンゲンス (*C. ウェルチ*)

形態 凍結乾燥粉末。バッファー塩と安定剤を含む部分的に精製された凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.5.1.24

CAS登録番号 37289-07-9

活性 > 100 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 5.6、37°Cで5分間に1.0 μ moleのグリココール酸をグリシンとコール酸に加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C